



千地申16号 「新型コロナウイルス感染拡大を防止し、安全で安心して業務ができる環境をつくり出す」  
ための緊急申し入れに関する団体交渉を行う！ その②

## ～その①からの続き～

### ○ 使用している薬品について

- (組合) 薬品は何を使用しているのか？
- (会社) 主にアルコールである。アルコール消毒液の入手が困難な箇所では次亜塩素酸ナトリウムを使用している箇所もある。
- (組合) 過去に次亜塩素酸ナトリウムを使用したところ、吊革が破損したということがあったので、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使用しないことを求める現場もあったと聞いている。認識しているのか。
- (会社) 過去に、次亜塩素酸ナトリウムが原因と見られる、樹脂部品の破損があったことは聞いている。その時の背景は、高頻度の使用状況があったが、今回の消毒作業は頻度とすればかなり少ないことから、樹脂部品の破損には至らないと判断した。

### ○ 予備勤務の取り扱いについて

- (組合) 出勤予備の考え方やについて、変わらないことを確認したい。また、作業中にダイヤ乱れが発生した時、乗務することはあるのか？
- (会社) 出勤予備の考え方は変わりはない。予備は突発的な乗務に備えて待機してもらう。そのための要員を確保した上での消毒作業である。また、消毒作業中に輸送混乱が発生した場合にも、基本的に乗務をすることはない。
- (組合) 消毒作業する社員としない社員とで評価において差別しないこと。
- (会社) 消毒作業をしない、できない社員をマイナス評価にするような差別をしない。

### ○ 感染拡大防止のために何をするのか？

- (組合) 乗務員室の消毒についても行うべきという声が、職場から多く出ている。
- (会社) すでに一部の箇所で行っている。これは、乗務員から感染者が出た時の消毒のシミュレーションも兼ねて行っている。
- (組合) 組合としては消毒作業は感染するリスクが高まっているという認識がある。装備についても議論したが、本来であれば、手袋。マスクの他に、服装も終了後にすぐに洗濯できる作業服が望ましいと考えているが、現実そこまで用意できないことも認識している。会社としてそのようなリスクを負いながら作業させている認識はあるのか？
- (会社) もちろん、リスクを負った上での作業であることは認識している。しかし、何もしないということではなく、お客様に安心してもらうこと。少しでも車内での感染リスクを下げるためにできることとして消毒作業を行ってもらっている。リスクは理解している。感染しない・させないことの重要性は理解している。
- (組合) 取り組みについて我々も否定していないが、リスク管理をきちんとし、効果を明確にして欲しい。作業実態や意見を共有し、感染防止に繋げていきたい。
- (会社) 了解。

**ウイルスへの感染拡大防止が重要！感染リスクの回避、安全な作業環境のために職場で議論を積み重ね、検証しよう！**